

管内北限の天然ヒノキ林

かしま
鹿島ヒノキ等遺伝資源希少個体群保護林

設定目的

本保護林は、古くは木曾地方の天然ヒノキ、いわゆる木曾ヒノキの分布帯に連続していたものと考えられている、管内北限の天然ヒノキ林として希少な森林であることから、その遺伝資源の保護を目的として設定しています。

地況・林況

長野県大町市を流れる鹿島川左岸、標高一、二五〇級の尾根筋周辺の西斜面に位置しています。

分布するヒノキは、江戸時代後期に伐採した後に天然更新により再生したものと考えられています。ヒノキを主体とし、クロベ（ネズコ）やミズナラ、ブナ等が混交する、多雪地帯に特徴的な天然林が分布しています。

シリーズ

中部の保護林(第41回)

所在地
長野県大町市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを
読み込んでください。